

共通教育外国語科目の選択について

(グローバル・コミュニケーション学部)

1. 大学で修得しなければならない共通教育外国語科目の単位数

グローバル・コミュニケーション学部では、卒業するために必要な共通教育外国語科目の修得条件は8単位以上となっています。外国語科目は、全て「1単位」で、半期(半年間)ごとに成績評価が行われます。

2. 共通教育外国語科目の種類

本学で開講されている共通教育外国語科目は、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」の5言語です。ただし、1年次のうちは、下記3. の履修必修の外国語科目の履修に集中することを勧めています(時間割の関係からも、積極的な履修は難しいとお考えください)。

3. 履修必修の外国語科目について

指定された年次に必ず履修登録しなければならない科目を履修必修科目といます。共通教育外国語科目について、1年次でコース毎に以下のように定められています。

英語コース・・・中国語(科目名:初級中国語Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb)

中国語コース・・・英語(科目名:基礎英語Ⅰ、Ⅱ、実用英語Ⅰ、Ⅱ)

日本語コース・・・英語(基礎英語Ⅰ、Ⅱ、実用英語Ⅰ、Ⅱ)または中国語(初級中国語Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb)から「第一言語(母語)」を除く言語を一つ選択

日本語コースの学生は、英語・中国語のどちらを履修するかをあらかじめ検討しておいてください。3月22日～26日に実施される「基礎学力診断(英語WEBテスト)」において、どちらを選択するか試験開始前にアンケートを取ります。

4. 共通教育外国語選択の申し込みについて

履修必修の共通教育外国語科目(上記3. 記載の科目)について申し込みは不要となります。履修必修以外の外国語科目を希望する場合、4/1の学修についての説明後に申し出てください。ただし、みなさんは、専門教育での語学と共通教育の履修必修の外国語(上記3. 記載の科目)とを合わせ、すでに週8回の授業を受けることが決まっています。そのうえ3つ目の外国語の履修は、相当な負担が予想されます。1年次生では専門教育の語学と共通教育の履修必修の外国語に専念し、大学の学修に慣れた2年次生から履修されることを勧めます。

(一部の例外を除き、上級年次生は下級年次授業の履修が可能です)

●「英語」については、「基礎学力診断(英語WEBテスト)」の結果により受講クラスが指定されません。

なお、やむを得ない事由により「基礎学力診断(英語WEBテスト)」を受験できない場合は、必ず事前に教務センター(KPC)へ連絡してください。(TEL 078-974-4085)

外国語クラス発表: 2025年4月2日(水)

学内情報サービス及びA号館1階エントランスホール(ポートアイランドキャンパス)

※ 発表されたクラスにしたがって、授業に出席してください。

【日本語コースのみ】

3月22日～26日に実施される「基礎学力診断（英語 WEB テスト）」において、試験開始前にアンケートが行われます。

グローバル・コミュニケーション学部日本語コースの学生は、英語または中国語（母国語を除く言語）どちらかを選択してください。

1、英語または中国語（母国語を除く言語）どちらかを選択してください。（必須）

英語

中国語

共通教育では、その他に「ドイツ語」や「フランス語」、「韓国語」、「ロシア語」を開講しています。しかしみなさんは、専門教育での語学授業もあり、共通教育の履修必修の語学（英語または中国語）と合わせて、すでに週8回の授業を受けることが決まっています。そのうえ3つ目の外国語の履修は、相当な負担が予想されます。1年次生では専門教育の語学と共通教育の履修必修の語学（英語または中国語）に専念し、2年次生になって時間に余裕がある場合、3つ目の語学を履修するよう強く勧めます。

試験後に外国語選択を変更することはできませんので、ご注意ください。